

# 生徒会新聞

23号

H29.01.16

皆さん、明けましておめでとうございませう。年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか？

また、一年の抱負はお決まりでしょうか？

早いものでもう三学期となり、三年生はセンター試験を終え、一息ついたところででしょうか。

今回の生徒会新聞では、全国高等学校駅伝競走大会についてお送りしたいと思います！

## 全国高等学校駅伝競走大会

昨年の十二月二十五日に、陸上部が都大路で開催された全国高等学校駅伝競走大会に出場しました。本大会に陸上部が出場するのは実に七年ぶり二度目の快挙となり、京都の地を走る本校の選手を応援するため、現地には沢山の学校関係者の方々が駆けつけて下さいました。

また、本校でも陸上部を応援するため、パブリックビューイングを行い、サッカー部や野球部等の運動部の部員を中心に、陸上部の勇姿を見守りました。



今回の結果は二十位（二時間七分三十一秒）となり、前回出場より順位もタイムも上がりました。陸上部三年生の重松晟弥さんに今回の全国駅伝について、お話しを伺いました。

―今回、全国駅伝に出場することが出来ましたが、それについてどう思いますか？

（陸）埼玉県予選ではプレッシャーに負けず、いつも通りの走りをみせ、七年ぶりに全国に出場することができて良かったです。

―今回の大会の結果についてどう思いますか？

（陸）元々持っている力は本大会でも通用するはずなので入賞を目標にしていたのですが、本番のプレッシャーは県予選よりも遙かに大きく、最高の力を出すことが出来ず残念です。

―今後の陸上部の目標はなんですか？

（陸）大会出場の経験を手にしたので、一年生、二年生は今後、その経験を活かしてさらに上を目指していきます。そして、大会出場の経験から次からは他の学校の目標となるので追い越されないように、そして再び本大会に出場できるようにしていきたいと思ひます。

―今回、応援してくれた方々にメッセージをお願いします。

（陸）走るうえで皆さんの応援はとても力になりました。そして、ここまで来ることが出来たのも自分たちを支えてきてくれた皆さんのおかげです。これまで本当に有難うございました。

―ありがとうございました。

視聴覚ホールでの応援が終了した際、司会を務めていた一川教頭先生から次のようなお話を頂きました。

「今回、普段は皆の隣で一緒に勉強している陸上部の選手の皆が七年前の記録も超えて、私たちに勇気を見せてくれたのです。ですから、今度は私たちの番です。今度は私たちが他の皆に勇気を与える番なのです。」

普段、何気なく隣で過ごしている友達の示してくれた勇氣、努力、結果に対して、私たちも応えられるように頑張りましょう！

### 編集後記

今年も一年間皆さんのお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。

実はこの文を書いているのはまだ年末なのですが、それでは鬼に笑われてしまうかなとひっそりと思ひています。